



2022年5月10日

各 位

住 所 東京都千代田区麹町五丁目1番地1
会 社 名 芙蓉総合リース株式会社
代表者の 代表取締役社長 織田 寛明
役職氏名 (コード番号：8424 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 木村 真弓
電話番号 03 - 5275 - 8891

ハイブリッド社債の発行に関するお知らせ

当社は、本日、発行上限を300億円とする公募形式によるハイブリッド社債（劣後特約付社債）（以下、「本社債」）の発行に関する訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本社債の目的と背景

当社は、2022～2026年度の新中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現による企業としての持続的な成長を目指し、マーケットの拡大・創出が見込まれる事業領域への集中的な資源投下を進めてまいります。

このような状況下、本社債を財務健全性及び資本効率向上の両立に資する資金調達手段と捉え、財務戦略の柔軟性を高め、長期的な視野での成長戦略を補完するものとして、発行を検討しております。

2. 本社債の特徴

本社債は、資本と負債の中間的性質を持ち、負債であることから株式の希薄化は発生しない一方、利息の任意繰延、超長期の償還期限、清算手続および倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質および特徴を有しています。このため、当社では株式会社格付投資情報センターおよび株式会社日本格付研究所（以下、「格付機関」）より資金調達額の50%に対して資本性の認定を受けることを見込んでいます。

なお、当社は、本社債の満期償還日以前に償還又は買入れにより取得（以下、「期限前償還等」）する場合は、期限前償還等以前12カ月間に、普通株式または格付機関から本社債と同等以上の資本性が認定される証券もしくは債務（以下、「借換証券」）により、資金調達を行うことを想定しています。ただし、本社債の初回任意償還日以降に期限前償還等をする際、一定の財務水準を満たす場合には、借換証券による資金調達を見送る可能性があります。

本社債の概略につきましては、本日付で関東財務局長に提出した訂正発行登録書をご参照ください。

3. 今後のスケジュール

本社債の発行においては、需要状況や市場環境を総合的に勘案した上で、発行金額、利率等の条件を決定する予定であり、決定次第速やかにお知らせします。

以上

本プレスリリースは、当社の証券発行に関する情報を公表することを唯一の目的に作成されたものであり、国内外を問わず一切の投資の勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。